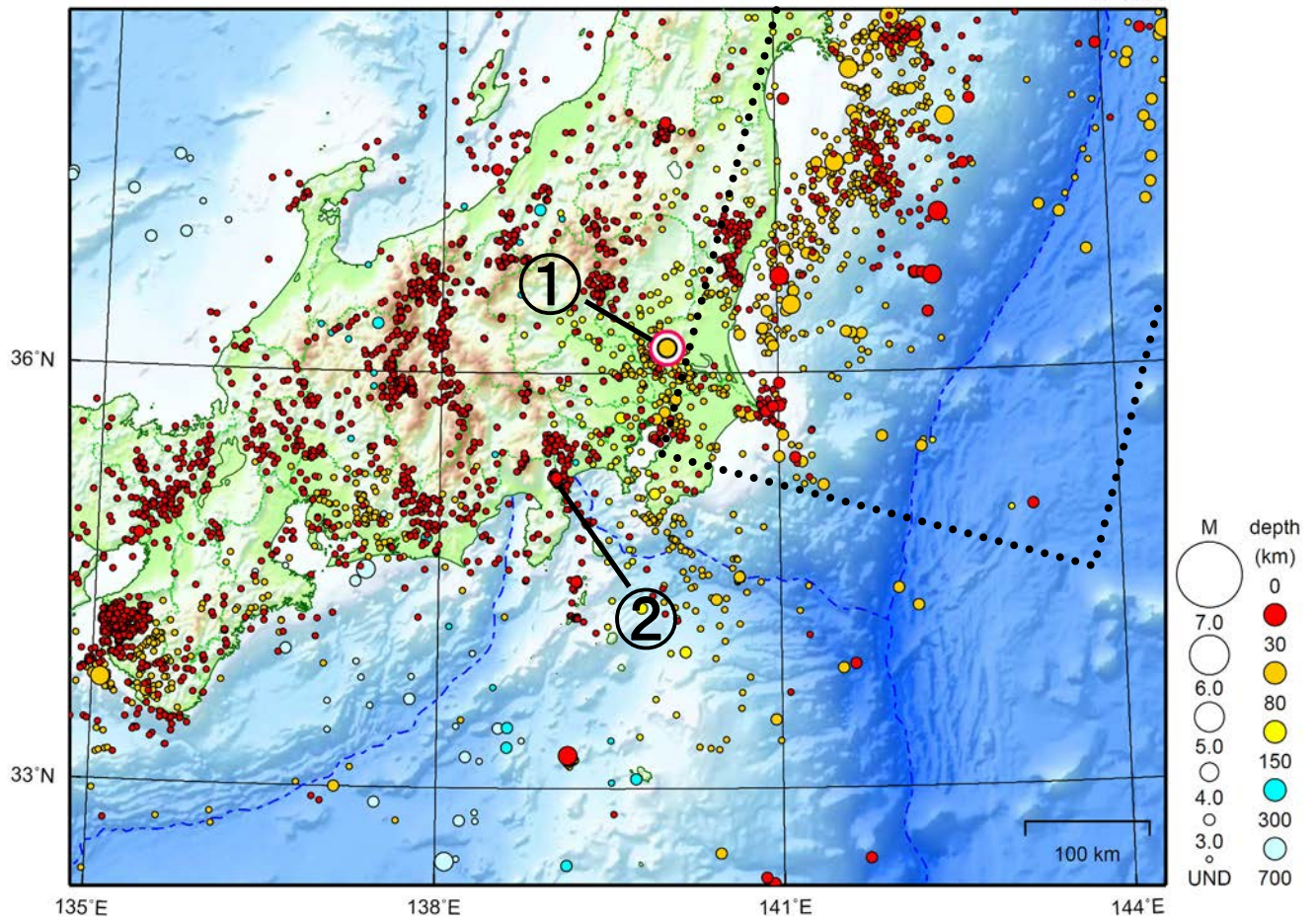


関東・中部地方

2015/06/01 00:00 ~ 2015/06/30 24:00

N=5004



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6 月 9 日に茨城県南部で M4.4 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 6 月 29 日から、神奈川県西部（箱根山付近）で地殻内を震源とする地震活動が活発になっている。

（上図範囲外）

- ・ 6 月 23 日に小笠原諸島西方沖で M6.8 の地震（最大震度 4）が発生した。

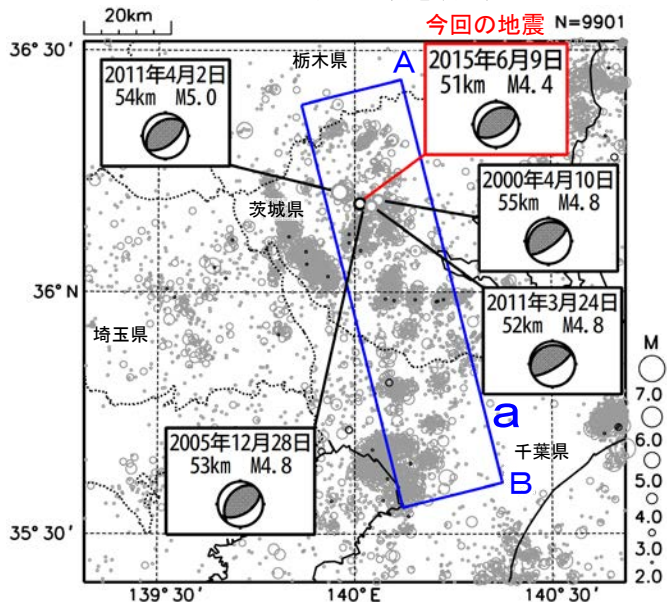
〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

6月9日 茨城県南部の地震

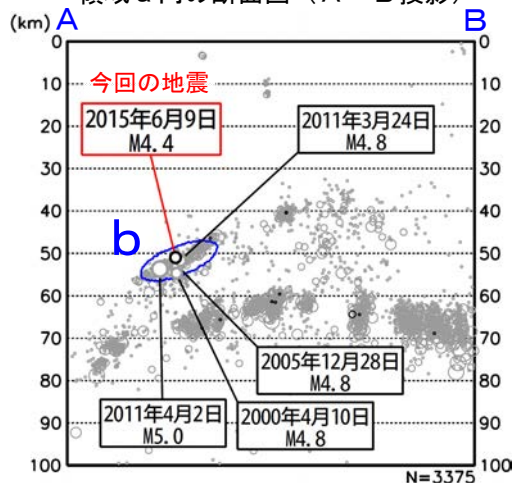
震央分布図

(1997年10月1日～2015年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2015年6月の地震を濃く表示

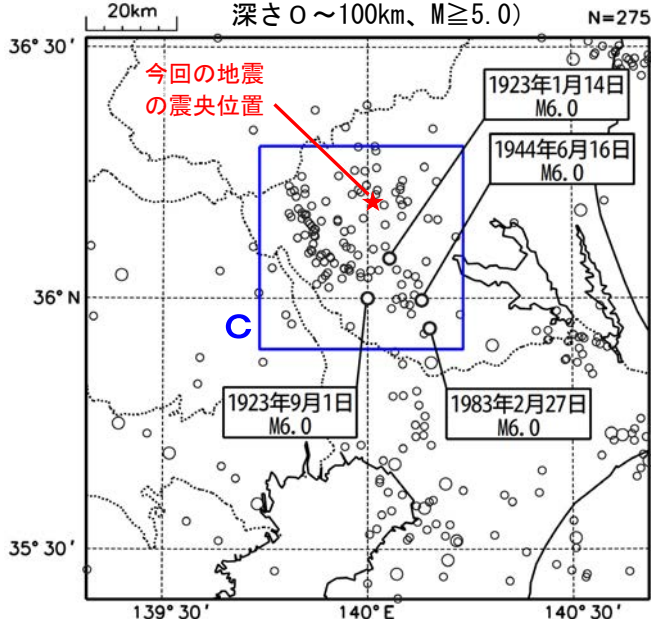


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2015年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

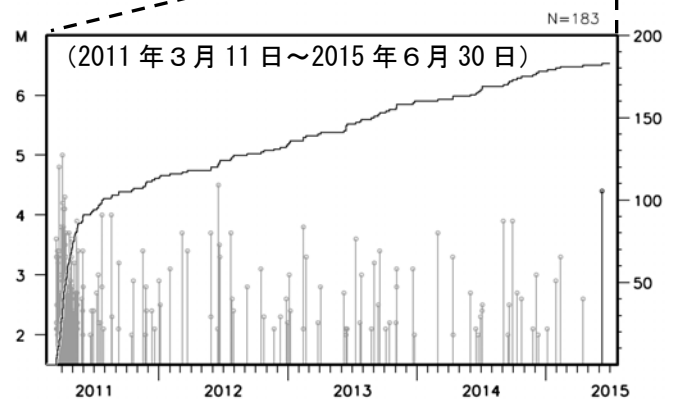
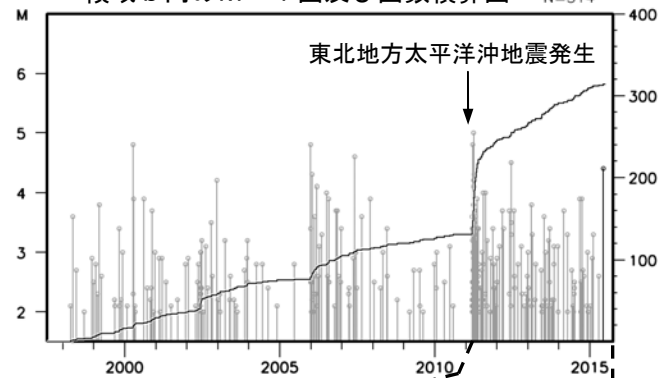


2015年6月9日05時44分に茨城県南部の深さ51kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

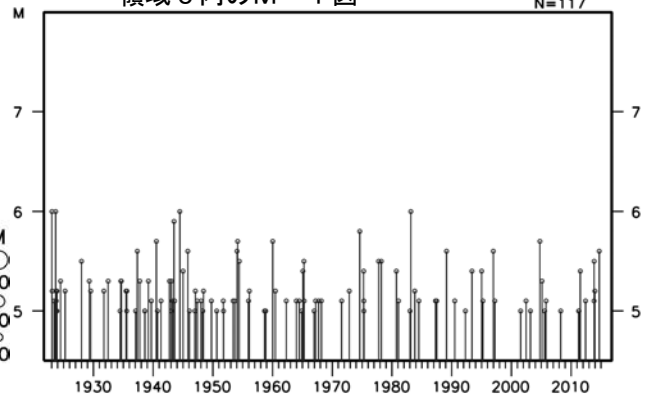
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5程度の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2011年4月2日にはM5.0の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。1983年2月27日に発生したM6.0の地震(最大震度4)では、負傷者11人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

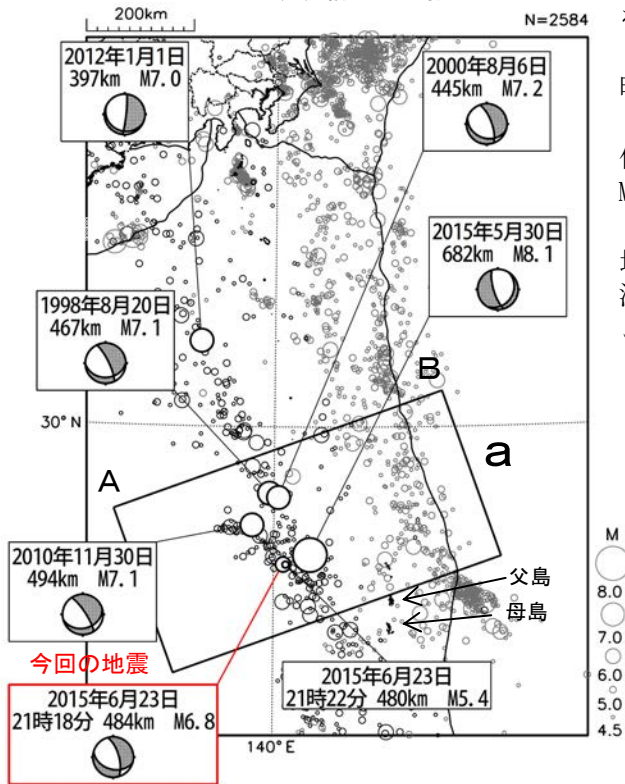


領域c内のM-T図



6月23日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)
100kmより深い地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



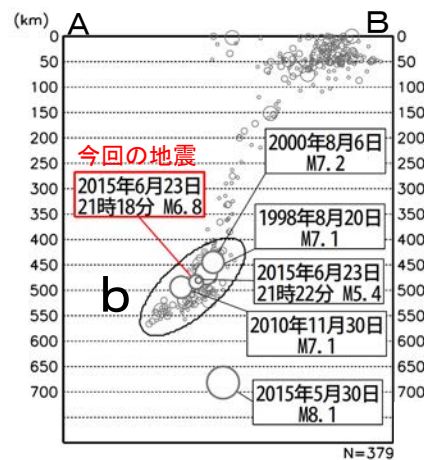
2015年6月23日21時18分に小笠原諸島西方沖の深さ484kmでM6.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

余震活動は低調で、最大規模の余震は、6月23日21時22分に発生したM5.4の地震（最大震度2）である。

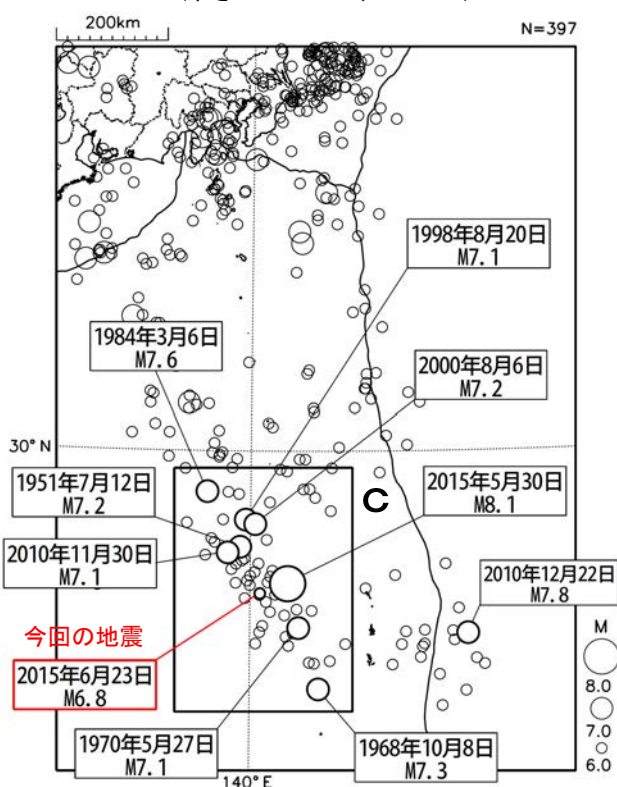
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では定常的な地震活動が見られており、M7.0以上の地震が3回発生している。

なお、今回の地震の周辺では、5月30日にM8.1の地震（深さ682km、最大震度5強）が発生しているが、深さがおよそ200km異なっているため、今回の地震はこの地震の余震ではないと考えられる。

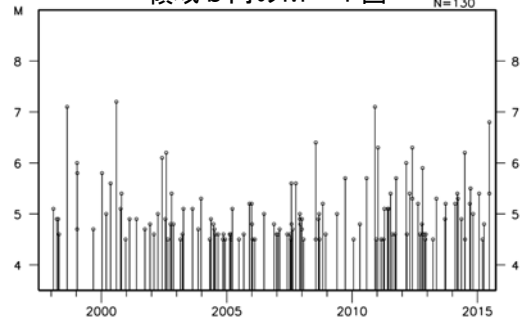
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図
(1923年1月1日～2015年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

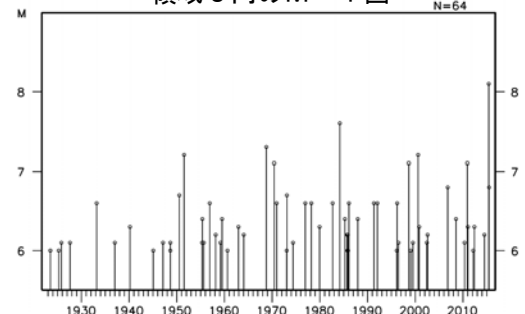


領域b内のM-T図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。5月30日に発生したM8.1の地震（最大震度5強）では、東京都で地震関連負傷者8件、埼玉県で負傷者3人、神奈川県で負傷者2人などの被害を生じた（総務省消防庁による）。

領域c内のM-T図

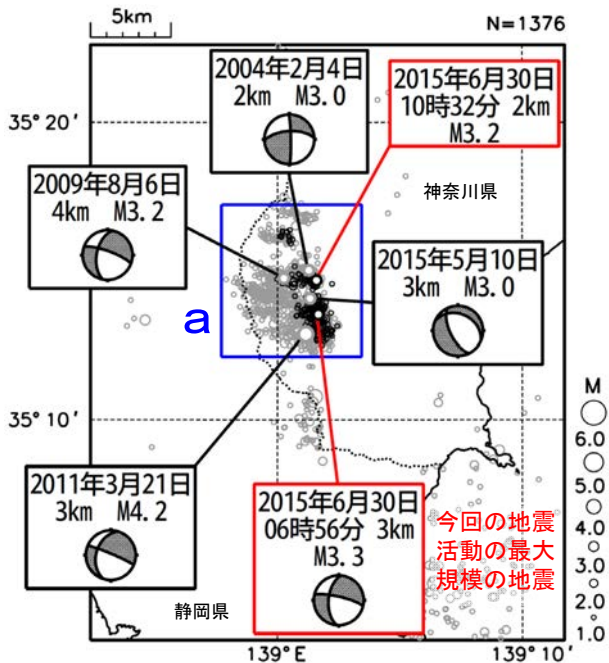


神奈川県西部（箱根山付近）の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2015年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

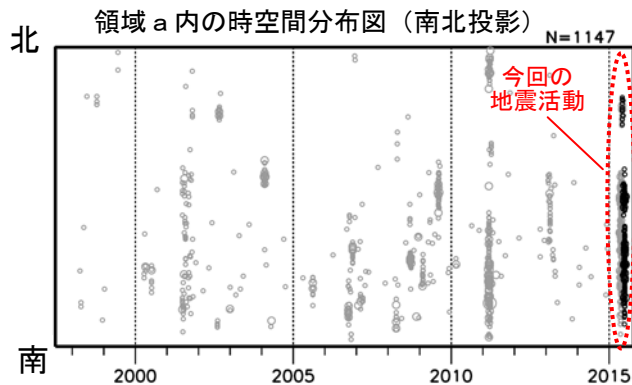
2015年6月1日以降の地震を濃く表示



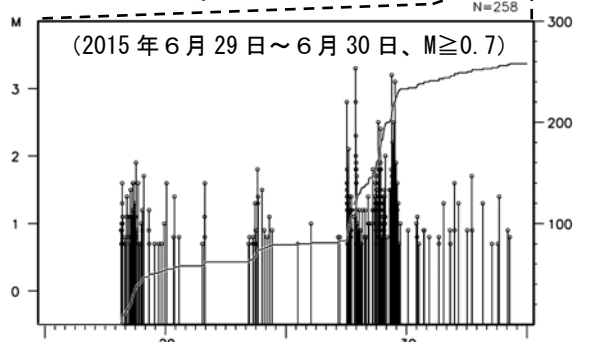
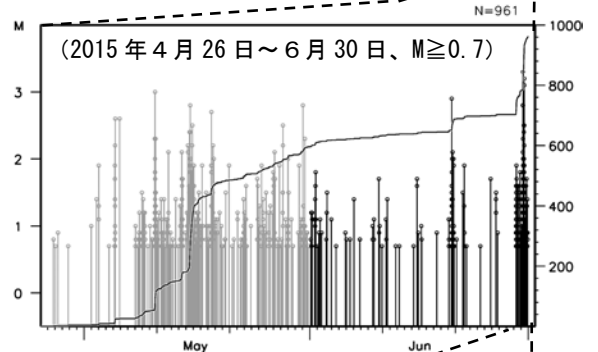
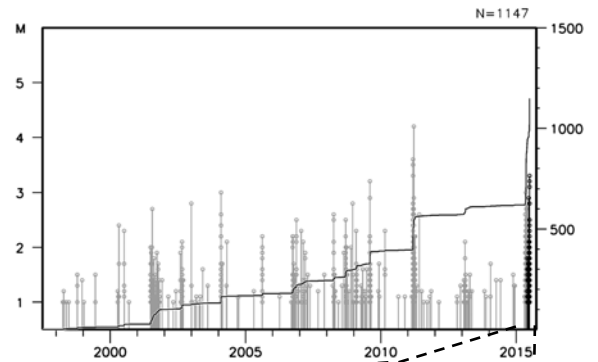
2015年6月29日から、神奈川県西部（箱根山付近）で火山性地震が増加し、6月30日06時56分にM3.3の地震（最大震度3）が、同日10時32分にM3.2の地震*（最大震度3）が発生したのをはじめ、30日にかけて最大震度1以上を観測する地震が15回（最大震度3：2回、最大震度2：3回、最大震度1：10回）発生した。これらの地震活動は地殻内で発生した。30日06時56分の地震の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。なお、箱根山では4月26日から火山活動が活発な状態となり、火山性地震が多い状態で経過している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の活動の周辺（領域a）では、しばしばまとまった活動がみられるが、M1.0以上の地震回数をみると、今回の地震活動が最も活発となっている。

* 情報発表に用いた震央地名は「静岡県東部」である。



領域a内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動の周辺では、M5.0を超える地震が2回発生している。

